

真言

発行 宗教法人大楽院

(真言宗豊山派)

代表役員

酒主 秀寛

三祖宝号(宗祖、中興祖、派祖)

「南無大師遍照金剛」

「南無興教大師」

「南無専誉僧正」をお唱えしましょう

墓参後は本堂でご本尊様にお手を合わせましょう

弘法大師御生誕千二百五十年 正当年



宗派と総本山長谷寺では、令和四年六月十五日(令和五年十二月三十一日まで)を特別期間として本山参拝を勧めしております。

当山でも六月に登嶺を予定しております。

また、御生誕記念事業として、広く檀信徒より日月牌・祈願札の申し込みを受け付けます。冥加料はそれぞれ五千円からとなっております。

皆様方の御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

『弘法大師御生誕千二百五十年 御生誕記念事業』の御案内

当山では、慶祝の年をお迎えするにあたり、『御生誕記念事業』として、現在「総本山長谷寺」でお授けを行っております「御生誕特別仕様 日月牌契書・御祈禱札」を、広く檀信徒の皆様にご案内いたします。

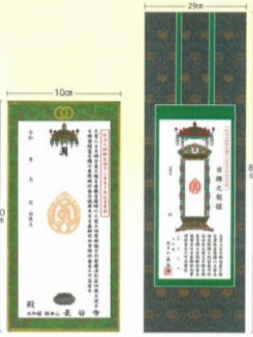
総本山長谷寺では、コロナ禍による入山料収益の減少により日々の寺院運営にも支障を来しております。そのような状況下にあつて、皆様方のお力添えによる当山の事業が、僅かでもその一助となればと発願致しました。檀信徒の皆様には、時節柄大変恐縮ではございますが、是非とも御賛同いただき、日月牌契書をご自宅の仏壇にお祀り下さり、また御祈禱札を添えて、御一同様のご清福を御祈念いただきたく存じます。お申込み方法等につきましては住職・寺族にご確認下さい。

日月牌契証

弘法大師がお生まれになった六月のさわやかな青葉をイメージし若草色で仕立てました。長谷寺本尊十一面観世音菩薩の種子を入れ、弘法大師御生誕の特別印も押印いたします。

御祈禱札

弘法大師御生誕の特別印を押印いたします。



東日本大震災物故者十三回忌法要

三月一日、相馬市歡喜寺内支所慰霊堂「慈眼院」において、宗派主催の法要が浅井侃雄猯下御親修、宗派御重役の御参列のもと営まれ、当山からは住職が事務局として出席しました。

猯下からは、「先の大震災で犠牲となった数多の御霊が、宗祖弘法大師の御導きにより十三回忌本尊大日如来の蓮台に安住せんことを。また、未だに避難生活を強いられる檀信徒へのお見舞い」のことが述べられました。支所内寺院約七十名の檀信徒も、それぞれにご焼香しました。

慰霊堂内には、支所下各寺院の東日本大震災物故者の過去帳が納められています。当山分は、震災以降から避難指示解除までの間に亡くなった六十柱が納められています。



また、当山では毎月十一日の朝勤行時には月命日法要を行っておりますが、三月十一日、朝勤行に合わせ改めて十三回忌の法要を行いました。東日本大震災罹災者諸精霊、牛馬諸精霊、愛玩動物諸精霊各霊の位牌に手を合わせました。

元旦護摩祈禱会

当山恒例の元朝護摩祈禱会、約四十名の檀信徒においていただき、来山者全員で所願成就をご祈願いたしました。



大般若経六百巻転読会

当山恒例の転読会を、彼岸の日である三月二十一日に実施しました。当山には貴重な大般若経が所蔵されており、年に一度来山者と一緒転読を行っております。

新型コロナウイルスの影響で近年は中止、終日お堂を開放し自由転読、黙読としてきましたが、今回は「マスク着用のうえ声出し」としました。多くの皆様のご来山ありがとうございました。



医王山興福寺大楽院 役員

代表役員・住職

酒主 秀寛

責任役員

芦口 一美

総代

箱崎 勝康

猪狩 正久

渡辺 好男

草野 公雄

鈴木 恒男

高野 幹生

草野 仁

橋本 明

草野 武夫

小松 岳生

草野 久

小野 治久

根本 正勝

新妻 孝

猪狩 芳樹

新妻 則彦

渡邊 幸生

猪狩 義栄

関谷 宗久

猪狩 一信

草野 和治

猪狩 三男

久保田 明

渡邊 良平

松本 公一

お知らせ

「大般若経復元基金事業」皆様方からの御寄進により全六百巻完了となりました。ありがとうございます。八十八箇所霊場願主は残り二箇所(二名様)です。希望される方は住職までご相談ください。

責任役員に草野 公雄氏

十二月四日に総代会が開催され、井出字前沢の草野公雄氏が新たに責任役員に推挙されました。任期は七月十七日から三年間となります。氏は総代として長年当山隆昌に尽力されており、ますますのご活躍を期待いたします。

また、現責任役員渡辺勝康氏は責任役員顧問へ就任予定となります。また、総代小松イク氏が任期満了に伴い総代顧問へ就任されました。長年にわたる当山へのご協力たいへんありがとうございます。引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。

町指定文化財立石不動尊堂(当山所有) 修理工完了、不動尊修繕完了

鋼板屋根への葺き替え、不陸調整のほか、不動明王像の修繕を併せて行っておりましたが、このほど完了し、二月十九日落慶法要を厳修いたしました。不動尊堂及びご本尊が氏子各位の心の拠り所となり、地区の繁栄・安寧が長く続き、檀信徒・氏子各位の所願が成就されることを切に願うものです。



令和五年大施餓鬼会並びに新盆供養会実施要領

- 一 期日 八月六日(日) 午前十時三十分
- 二 会場 大楽院本堂
- 三 内容 新盆家・総代で先祖代々塔婆供養、新盆者供養
- 四 塔婆供養 精霊(祖霊)のある全檀家様分準備します
- 五 供養料 塔婆一本 五千元
- 六 塔婆引渡 供養会以降随時(該当の方には別途ご案内いたします)

【お願い】

令和五年度施餓鬼(お盆) 塔婆供養料及び護寺費納入について
施餓鬼(お盆) 塔婆供養料は、檀家で精霊(祖霊)のある方をお願いするもので、一本五千元となります。本堂その他堂宇の火災保険料等に充てられます。

護寺費は宗派・支所賦課金、本堂消耗仏具等の購入に充てられるもので、全檀家様をお願いしております。一檀家二千元となります。いずれも、お寺の維持管理等のため必要となりますので、檀徒皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

お悔やみ

総代顧問 片山一吉様
二月六日逝去

総代 會澤節夫様
十一月五日逝去
両氏の生前の当山へのご尽力に心より感謝いたします。合掌

観音堂祈禱会

三月十二日、井出字西原にある観音堂において祈禱会を営みました。境内には軍馬忠霊碑が建立されており、堂内には馬頭観世音菩薩が祀られており、畜牛を生業としていた近隣の方々の信仰の場となっておりました。

当日は、東日本大震災で犠牲になった畜牛の鎮魂供養を行い、併せて願主の家内安全、事業繁栄、家畜安全等の諸祈願を行いました。



水子地蔵尊供養会

十一月二十三日、当山年中行事である供養会を行いました。

席上、長年にわたり供養会々長としてご供養を重ね七月に逝去された渡辺芳男氏を偲びました。

施主様皆様のご参加により、供養会ができました。尚、お供えいただきましたお菓子は「おてらおやつクラブ」をとおり、必要な方にお送りいたしました。



令和五年 年回表

一周忌	令和四年
三回忌	令和三年
七回忌	平成二十九年
十三回忌	平成二十三年
十七回忌	平成十九年
二十三回忌	平成十三年
二十七回忌	平成九年
三十三回忌	平成三年
三十七回忌	昭和六十二年
四十三回忌	昭和五十六年
四十七回忌	昭和五十二年
五十回忌	昭和四十九年
百回忌	大正十三年

追善供養は毎年行うのが本義です。ここには代表的な年回を掲載しました。供養の在り方について不明な点はご相談ください。

十二月と一月の二回にわたってJヴィレッジで行われた、浜通りのシニアすこやか塾「学び舎Jヴィレッジ」にて、ココロ整う和文化塾として大人の書道教室の講師を務めさせていただきました。延べ八十名に写仏と写経をおして美しい字を書くコツを学んでいただきました。また、お坊さんの着ているものや持っているもの、実は日常に取り入れられている仏教のことなどについて話しました。

写仏では、下絵のほとけさまをなぞりながらまっすぐな線を書くことを、写経では、「般若心経」の意味を理解してからお唱えし、筆を進めることをしました。

参加者からは、きれいな字を書くイメージがわかった、香を塗って集中して書くことができた、何気なく唱えていた般若心経の意味が少しだけ理解できたなどのお声をいただきました。対面で行うことの素晴らしさを改めて感じることもできました。

皆様お元気にお過ごしください。合掌

真言宗豊山派医王山興福寺大楽院

法務等のご相談は、下記までお願いいたします。

〒979-0603 福島県双葉郡楡葉町大字井出字谷地 6 5

電話 0240-25-2434

FAX 0240-25-4808

お寺の最新情報は、SNSで発信しております。

